

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	17	事業名	防災訓練事業	担当部課	くらし文化部安心安全課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市地域防災計画	2-1-14 防災費	
	事業開始の背景、経緯等	いつ起きるか分からない災害に備え、市民の防災意識の向上を図る必要がある。			
市民・民間事業者との 連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 各小学校区ごとに、地域住民が主体となった防災訓練を実施する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 防災訓練参加地域住民
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域住民が主体的に避難所開設できるようにする。

コスト推移	項目	単位	区分	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
		事業費(A)	千円	予算	1,168	1,185	930	689
			決算	907	896	779	479	
	人件費(B)	千円	決算	5,472	6,917	8,347	8,972	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	6,379	7,813	9,126	9,451	
	事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		2,846	2,915	165	287	300
	対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		4	3	20	30	

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
		地域住民が主体となって避難所開設訓練を実施した小学校区数	校区	目標	-	-	6	6
			実績	-	-	6	6	
	(指標の設定根拠) 災害時、避難所の開設・運営は地域住民が主体となって行う必要があるため。	(数値目標の根拠) ・避難所の開設・運営は市職員だけではできない。 ・過去の災害事例においても、地域住民が主体となって開設・運営を行った避難所では、良好な避難所生活を送ることができている。						
	(前年から指標を変更した場合はその理由) R2は本事業は行政評価対象ではなかった。 R1は本事業が行政評価対象であり、下記を指標としていたが、現在のコロナ禍においては適切な指標でないため、変更した。 (前年までの指標) R1の指標：(住民の防災訓練)参加率が5%以上となった小学校区の数 (R2は行政評価対象外)	・このため、6つの小学校区全てで、地域住民主体の避難所開設訓練を実施することが重要である。 ・なお、新型コロナウイルスの流行前と比べて訓練内容が大きく変わっていることから、目標設定等は新型コロナ流行後であるR2以降のみ設定する。						

これまでの振り返り	目標達成状況 ・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) コロナ禍ではあるが、基本的な感染症対策を徹底して、地域住民が主体となった避難所開設訓練を6つの小学校区全てで実施できている。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 避難所の開設・運営は、地域住民が主体的に行うものであるという意識は根付いている。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 自治会や区会など、役員の交代があるため経験の積み重ねが進まない。 ただし、見方を変えれば役員の交代があることで、訓練経験者が年々増加している。

事業を構成する事務事業①	防災訓練事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	287	300	325	350	375	
			実績	287				
(2) 地域住民が主体となって避難所開設訓練を実施した小学校区数	校区	見込	6	6	6	6	6	
			実績	6				
(3)								
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 長久手市避難所開設・運営の手順書に基づき、感染症対策を考慮した避難所開設訓練を、地域住民が主体となり、6つの小学校区全てで実施することができた。							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	防災訓練事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
			実績					
(3)		見込						
			実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	防災訓練事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
			実績					
(3)		見込						
			実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も感染症対策を考慮しつつ、地域住民主体の避難所開設訓練を継続して実施し、習熟を図る。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 現在の訓練は避難所開設に重点を置いているため、5~10年以内を目途に避難所運営まで含めた訓練の実施を図る。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・啓発物品の購入については効果を勘案し見直しをするなど、限られた財源の中で適切な事業費としてください。
内部意見への回答	